

情報連絡員報告を中心とした

# 県内の中小企業動向

平成25年1月期

情報連絡員50名 回答数50名

## 全体概要 【前月からの動き】

### 前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は6から4に減少。「減少した」業種は5から8に増加。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は12から5に減少。「減少した」業種は8から16に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は5のまま変化なし。「悪化した」業種は12から10に減少。

### 前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は3から6に増加。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は4から5に増加。「減少した」業種は17から15に減少。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2から4に増加。「悪化した」業種は20から14に減少。

#### 製造業

##### しょうゆ製造

【県内全域】

例年通り低調であった。

##### 豆腐製造

【県内全域】

輸入大豆は燃料高騰で値上がり、国産大豆は引き続き高値止まり、商品価格への転嫁を各店が行わなければならぬときが来ている。

##### 製材

【県内全域】

仕事量の増加傾向が見込まれる。合板類の値上げのペースが速まっている。

##### 製材

【木更津】

米材の原木輸入を永年3回／年として続けてきた。しかし、木皮の削り手間から、半製品（加工品）を輸入する組合員が出てきた。

##### 印刷

【県内全域】

1月の受注売上は、前月と比し若干悪化。年末・年始休暇を9連休とした企業も多く、その後の3連休を含めた場合に1月の稼働日数は19日となり、結果として多くの会社は売上を落としたようだ。

##### 生コン製造

【県内全域】

需要は回復しており、需給のタイト化が見込まれる。各地域で値上げの動きがある。

##### 電気鍍金

【県内全域】

株高、円安の影響で幾分経済環

境が上向く材料が出てきたかと、一過性であろうか引き合いが出てきたが、本格的な経済環境の改善には至っていないのが現状。

##### 鉄工

【千葉】

全体として依然厳しい状況に変わりない。しかし、政権交代後の円安・株高を背景にムード一変する中で、自動車関連等明るい兆しが出始めた企業もあり、今後の伸展に期待大。

##### 機械部品製造

【野田】

正月で一服、下旬より建設業界に明るさ、他業界も期待感。期待感によるものか、見込み生産在庫が少し出来てきている。

##### 機械部品製造

【流山】

急激な円安は、燃料費等の値段が高騰し、コスト増加につながり企業負担は大きい。

##### 機械部品製造

【柏】

アベノミクスによりマインドは明るくなった（大きな変化点であり、チャンス）。しかし、受注ペーシスは低調かつ中小企業には厳しい状況が続いている。この一年が機会として捉え、挑戦（積極経営、営業を推進）するのが重要。

##### 金属製品製造

【船橋】

年末までの状況と比較すれば、

好転の傾向も出てきている。

【採石】

東京湾岸の港湾整備事業の増加を期待。特に、東京オリンピックの招致が決まれば東京港周辺の整備が促進され、資材の大幅な需要に期待が持てる。

【土砂採取】

採掘量は全体的には昨年より約14%減であり、引き続き県内全体の骨材の需要は減少傾向が著しい。主要顧客の生コン各社の出荷は頭打ち感があり、昨年対比微増が見込まれ、生コン市況（価格）も供給過多はあるものの少し上昇気味との報告がある。

また、震災復興工事等の特需により出荷量は、対前年比約20%程度増加で、洗砂・山砂の在庫数の減少が当分続く傾向にあるとの報告がある。

非製造業

【総合卸売】

【千葉県・東京都】  
【日用雑貨】インフルエンザの流行から、使い捨てマスクの出荷が増加。2月以降も花粉対策としての需要増が見込まれる。

【食肉卸売】

牛の市場価格が好転した。

【建築材料卸売】

新政権のパフォーマンスで期待感が拡がっているが、荷動き自体は停滞。輸送力不足、作業員不足で工事に支障。東北及び全国的需要の伸びに対し県内実態需要は低迷前年割れとなっている。セメント仕入価格は横這いだが末端売価が低下。中間流通は苦しんでいる。

【自動車解体】

円安傾向とスクラップ価格の持ち直しが続く、雰囲気は少し明るさあり。廃車発生台数は少ない。

【乾物卸売】

消費低迷状況は変わらず。新海苔入札相場は、前年に比べ全国的に上物が弱含み。景況を反映しての動きのようだ。昨年に比べ生産量は増加しており今後の海況次第だが、相場は弱含みになりそうだ。

【小売】

福袋を中心とした初売りは前年より良かったが、高額商品は相変わらず売れていない。中旬以降、寒い日が続き、客足の上がり早い。

【電気機器小売】

12月に引き続き1月も大変厳しい。先月より商品の動きがない。LED照明だけが良く動き、他の商品は動きが鈍い。

【青果小売】

前半はまあまあスタートであったが、中旬、下旬に2回の大雪となり、流通面と入荷面で大きく影響が出た。これを境に注文が減り、最終的には売上と利益がとれなかった。

【中古車仕入・販売】

円安による相場の上昇、成約率のUPが顕著になっている。又、円安による輸出の増加により更なるタマ不足に。今後も相場は高値で推移するものと思われる。

【小売】

寒かったので、冬物商品の動きは良かった。食品等は若干減。野菜関係の値上がりあり。ファッション関連は、重衣料が好調。パーゲンの盛り上がりは今一つ。実質、正月よりバーゲンになっている。

【小売】

福袋売上上で好調な新年を迎えたが、中旬の大雪以降、来店客数が激減し、散々な年明けになった。

【印鑑小売】

店売りは微増だが、営業売上が前年と比べ大きく減少。

【小売・サービス】

正月の出足は良かったが、14日の雪の日を境に、その後の来街者数が極端に減った。後半に期待し

たがそのまま悪い状況に変化なし。

【建設揚重】

稼働率は前月同様で好調が続いているが一部で不足傾向あり。価格はスポットで上昇傾向にあるが、基本ベースは上昇に至っていない。

【遊覧船】

例年になく強風が多く、欠航が多くて落ち込んでいる。

【一般廃棄物処理】

11月に低迷した景気も12月に少し巻き返しホッとしたのも束の間、1月は11月より厳しい結果に。

【学習塾】

冬期講習が終わり、中学受験生と高校受験生が、早々と合格した者から退塾が開始する時期。

【ソフトウエア】

政権交代がプラスになるか？現状は多少好転してきている感あり。

【建設】

当連合会加入組合員の受注額は、5,831百万円であった。前月比で420百万円の増加、前年同月比でも1,590百万円の増加。

【貨物運送】

前月比、前年度比共に減少した。少しずつ回復しているが、好調とはいえない。

【輸出入】

【千葉県】